



2025 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド

代表者名 代表取締役社長執行役員グループ C00 成瀬 功一郎

コード番号 3205 (東証スタンダード・名証プレミア)

問合せ先 取締役上席執行役員グループ CF0 白子田 圭一

(TEL : 03-3257-5022)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想および通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,680	百万円 △300	百万円 △410	百万円 △470	円 銭 △17.34
今回修正予想 (B)	13,510	△630	△770	80	2.94
増減額 (B-A)	△170	△330	△360	550	20.28
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	13,718	△456	△483	△202	△7.49

2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,440	百万円 100	百万円 △80	百万円 680	円 銭 25.09
今回修正予想 (B)	31,890	100	△180	△80	△2.94
増減額 (B-A)	3,450	—	△100	△760	△28.03
増減率 (%)	12.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	28,609	△64	△233	△2,483	△91.65

3. 修正の理由

2026年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正につきましては、物価上昇による消費者の節約志向の高まりや消費者の購買行動の変化により、従来の実売期における重衣料の販売が減少し、国内小売部門の「ニューヨーカー」の売上高および利益が想定を大きく下回る見込みとなったことに加えて、2025年6月26日公表の「子会社の異動を伴う株式取得に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、株式会社ジャパンプルーの連結子会社化にかかる取得関連費用（概算額：222百万円）を販売費および一般管理費に計上する見込みとなったことなどによるものであります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正につきましては、第3四半期会計期間に予定しておりました不動産の譲渡が第2四半期会計期間に変更になったことにより、譲渡に伴う固定資産売却損の計上および繰延税金負債の取り崩しが前倒しになったことなどによるものであります。

2026年3月期通期連結業績予想につきましては、「ニューヨーカー」の低迷が引き続き見込まれるものの、第3四半期会計期間から第4四半期会計期間にかけて株式会社ジャパンプルーの半期分の業績が連結業績に取り込まれることによる売上高および利益の増加を見込んでおります。

株式会社ジャパンプルーの取得による連結業績への影響については、2026年3月期においては取得関連費用の発生や連結業績に取り込まれる期間が半期分しかないことにより限定的となる見込みですが、2027年3月期以降は本格的に連結業績に寄与する予定であります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の下方修正につきましては、グループ各社において事業構造改善費用の発生などを新たに見込んだことに加えて、株式会社ジャパンプルーの連結子会社化による税負担の増加を織り込んだことなどによるものであります。

これらの状況を踏まえて、2026年3月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

（注）本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、のれんの金額およびのれんの償却期間などや今後の様々な要素により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上